

「生きる力を育む教育をめざして」

青森県立八戸中央高等学校

校長 鈴木 崇

この度は、本校ホームページにアクセスいただきありがとうございます。

定時制・通信制高校は、教育の機会均等の理念に基づき、勤労青少年に高等学校教育を受ける機会を広く与えるために、昭和23年に発足しました。本校も同様にして、同年八戸市立第一高等学校(定時制課程)として開校されました。

昭和59年に県移管されることに伴い、青森県立八戸中央高等学校となりました。現在は単位制による普通科の定時制課程(午前部・午後部・夜間部の三部制)と普通科の通信制課程を擁し、多様な生徒に対応した教育を実践しており、地域社会から必要とされる学校として、平成30年には創立70年を迎えることができました。

現代は情報化やグローバル化が進展し、世界と関わるのが特別なことではなくなりました。また生成AIという技術が注目を集め人間の生活や社会に大きな変化が生じるとされており、将来の予測は困難な時代になってきています。これからは高等学校卒業後も主体的に学びを深め社会に対応していく力が求められております。

八戸中央高等学校では、こういった社会や環境の変化に対し、柔軟に、かつたくましく対応し、未来を切り拓いていくための「生きる力」、「生き抜く力」を育成し、生徒一人一人が自分の可能性を広げて夢の実現ができるよう、個性に配慮しつつ、きめ細かな学習指導やキャリア教育を柱とした教育活動に教職員一体となって取り組んでまいります。

ホームページをご覧ください、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

校 訓 「 自 主 協 和 創 造 」

教育目標 (1) 意欲に燃え、自主性のある人間の育成

(2) お互いに敬愛しあい、協調性をもつ人間の育成

(3) 知性を高め、創造性に富んだ人間の育成

重点目標 (1) 自由な校風の中にあっても、規律を重んじ、働きながら明るく楽しく学ぶことができる定時制通信制高校を目指す。

(2) 個に焦点を当てて個を育てる生徒指導を目指す。

(3) 組織的・計画的な進路指導を進め生徒の進路希望の実現を目指す。

(4) 定時制における「通級による指導」に関する校内体制の整備と指導の充実を目指す。

(5) 新たな時代に即した広報活動の充実を目指す。